



【出前授業】 神戸開港150年 もっと海・船を知ろう！ ～ 海事人材確保の「出前授業」がはじまります ～

神戸運輸監理部、神戸地区の教育機関（神戸大、神戸市教育委員会）及び海事関係事業者で構成する神戸海事地域人材確保連携協議会（会長：廣野康平 神戸大学海事科学研究科 准教授）は、小中学校に海事の専門家を派遣して行う、海の「出前授業」を今年度も引き続き実施します。初回は、6月22日に神戸市立妙法寺小学校で3年生を対象に行います。

神戸運輸監理部は、船員や海事産業の担い手の確保・育成の一環として、小中学生に「海」「船」に関する理解を深めてもらい、将来「船員」等がなりたい職業の選択肢となるよう関係団体と連携して、平成20年度から「出前授業」の取組をすすめています。

協議会会員である神戸市みなと総局が中心となり、全面改訂した海事に関する社会科系教材「海とみなとがしごとのふたい」は、神戸市内の全ての小学3年生、中学2年生に配付されています。

出前授業は、同教材を活用しながら海運の重要性や外国との貿易に活躍する船の紹介の他、船やみなとで働く人たちを紹介し、海事に関する知識を総合的に深める内容となっています。

今年度は既に小学校7校、中学校1校（合計681人）について「出前授業」の実施希望が寄せられております。当面の実施計画は以下のとおりです。

○6月22日、30日 神戸市立妙法寺小学校3年生(51名)

【講師】 当運輸監理部 川路海事振興部長

○6月28日 神戸市立灘小学校3年生(58名)

【講師】 神戸港振興協会 森田参事

○7月13日 神戸市立星和台中学校2年生(102名)

【講師】 フェリーさんふらわあ 竹内課長



本事業は、船員確保・育成の一環として、将来を担う青少年に「海」「船」や「船員という仕事」に関する理解を深めてもらうため、神戸海事地域人材確保連携協議会（組織数 18）会員が相互に協力し、神戸運輸監理部が募集および実施の調整を行っています。

配布先
神戸海運記者クラブ

問い合わせ先
神戸運輸監理部 海事振興部
担当： 筒井 西澤
電話：078-321-3149（直通）